

屋内活動

プログラム名(コース名)	フォトフレーム ※団体主導			
概要	フォトフレームに浜名湖でとれた貝殻などを貼り、オリジナルの作品を作る。			
ねらい	貝殻を使って、創造する喜びを味わうことができる。 創意工夫をして、オリジナルの作品を完成させることができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～200人(2人以上)
	活動時間	60～120分	活動時期	通年
	活動場所	研修室等	費用	1個200円 ※紙粘土付の場合 350円
	下見	不要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 筆記用具、貝を拾いに行くときの帽子、合羽、ハンカチ (団体) 貝を拭く用のタオル、ウェットシート(手拭き用)			
安全上の留意点 (対策方法)	貝殻によるケガ(取扱いに注意)			
<b>活動内容(手順)</b>				
<p>事前①指導者配置の決定：製作手順の説明、巡視指導、研修生への指導</p> <p>②実施方法の決定：活動時間・休憩時間の設定、製作する数量</p> <p>③研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導</p>				
活動前①確認事項：人数、健康状態、貸出備品、準備				
<p>活動①指導：指導者より</p> <p>②活動開始：作り方については裏面「フォトフレームの作り方」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖岸で貝殻を拾う。水で貝を洗い、タオルで水気を拭く</li> <li>※雨天時は青年の家の貝殻を使用するが、活動中貝殻が拾える時間があれば、拾って返す</li> <li>※貝殻をさわった後は、必ず石けんできれいに手を洗う</li> <li>・フレームや貝殻に絵や文字を描いたり、貝殻に色を塗る</li> <li>・ボンドで紙粘土・貝殻を貼る</li> <li>※乾くのに60分程度かかる</li> <li>※紙粘土には絵具で色をつけても良い。</li> </ul> <p>③確認事項：人数、健康状態</p> <p>④振り返り：活動の感想を発表</p> <p>⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰、清掃</p> <p>※備品の片付けは所員も一緒に実施。担当所員へ声掛けをする。</p> <p>⑥報告：所員へ終了、研修生の健康状態を報告</p>				

# フォトフレーム

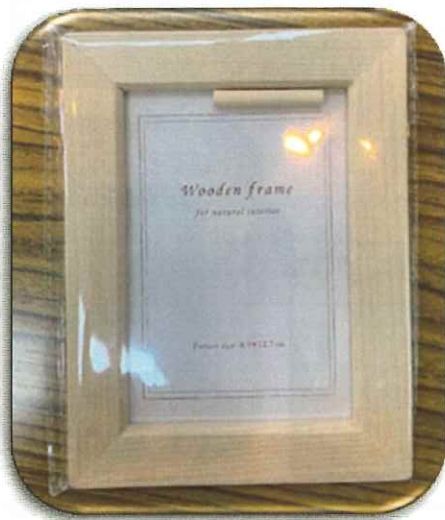
## ☆事前準備

湖岸で貝を拾って水道水で洗い、乾かす

クラフトに使用できる大きさの貝を 10 こ程度集める

## ☆材料

フォトフレーム



ボンド



新聞紙



ペン



# ☆手順

①各自フォトフレーム1つ、  
新聞紙一つ、拾ってきた貝を  
用意する



②フォトフレームの中心を外し、紙を上にして戻す

フォトフレームの中心（クリアシート、紙、  
裏ぶた）をはずす。

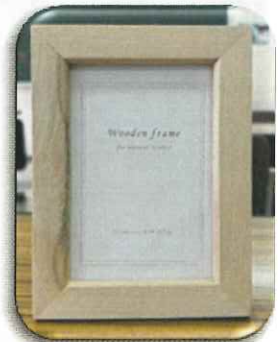
紙が一番上になるようにし、中心に戻す

※クリアシートが汚れるのを防ぐため。



③向きを決める

フォトフレームを縦に作るのか  
横に作るのかを決める



▲注意▲

フォトフレームの裏に穴が空いているため、  
穴を下にして作る

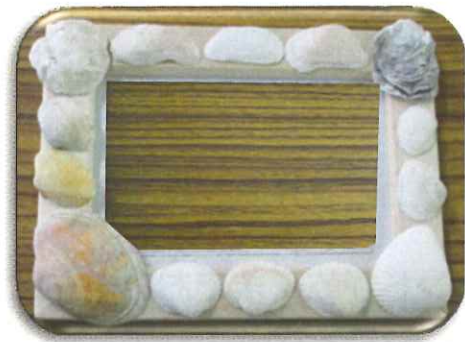
→裏の穴がおなか側になるように置く





#### ④貝の仮置き

フレームの上に貝を並べ、  
完成をイメージする



#### ⑤飾りつけをする

拾ってきた貝に絵をかいたり、  
フォトフレーム本体に絵をかいたりする。

##### ◎ポイント◎

- ・貝はペンで色を塗ってもよい

##### ▲注意▲

机が汚れないよう新聞紙の  
上で作業をする



#### ⑥貝殻をボンドで貼る

ボンドはフォトフレーム本体でも  
貝殻に付けてもよい

##### ▲注意▲

貝殻がフレームの下にはみ出さない  
ように貼る  
(はみ出すと傾いてしまう)



### ⑦完成したフォトフレームを乾かす

机の上にフォトフレームを置き、  
ボンドが乾くまでおいておく

#### ▲注意▲

乾く前に持ち帰る場合は  
新聞紙に来るんで持ち帰る



### ⑥片付けをする

- ペンを元の場所に戻す
- 机の上のゴミなどを捨て、机を整頓する
- 汚れた新聞紙はゴミ箱に捨てる  
きれいな新聞紙は畳んでかごに戻す
- 余った貝はお土産にどうぞ♪



### ⑦作業終了

フォトフレームは約 1 時間で乾きます

乾かしておく場合は再度とりに来る時間を決めてください。



# フォトフレーム

紙粘土付き

## ☆事前準備

湖岸で貝を拾って水道水で洗い、乾かす

クラフトに使用できる大きさの貝を 10 程度集める

## ☆材料

フォトフレーム



紙粘土



一人半分使います

ボンド



はさみ



新聞紙



ゆび絵具



小さな貝殻



ペン



紙皿



## ☆手順

- ①各自フォトフレーム1つ、  
新聞紙一つ、小さい貝殻3つ、  
はさみ・紙粘土二人で一つ、  
拾ってきた貝を用意する



- ②フォトフレームの中心を外し、紙を上にして戻す

フォトフレームの中心（クリアシート、紙、裏ぶた）をはずす。

紙が一番上になるようにし、中心に戻す

※クリアシートが汚れるのを防ぐため。



- ③向きを決める

フォトフレームを縦に作るのか  
横に作るのかを決める



### ▲注意▲

フォトフレームの裏に穴が空いているため、  
穴を下にして作る

→裏の穴がおなか側になるように置く





#### ④紙粘土を半分にする

はさみを使って、紙粘土を半分に切る  
紙粘土は二人で一つ（一人半分）つかう

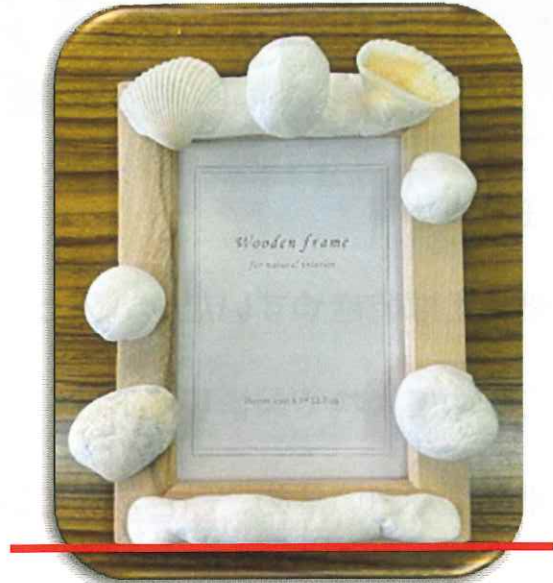


#### ⑤紙粘土・貝の仮置き

フレームの上に紙粘土や貝を並べ、  
完成をイメージする

##### ▲注意▲

下から紙粘土や貝がはみ出ない  
ように注意をする。



#### ⑥絵具を取りに行く

青・赤・黄の絵具を少量出す

##### ▲注意▲

絵具は小指の第一関節程度出す。

（絵具を置く場所を決め、研修生がとりにいく）



#### ◎ポイント◎

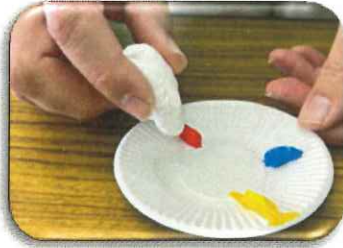
2～3箇所机を作ると  
効率よく取りに行けます





## ⑦紙粘土に色をつける

紙粘土と絵具を混ぜ、好きな色を作る



色を混ぜても

OK

### ▲注意▲

- 紙粘土は乾きやすいため、入っていた袋にこまめに入れて保管して下さい
- 紙粘土が白いため、原色ままにはなりません  
(特に低学年に説明をお願いします)



## ⑧飾りつけをする

拾ってきた貝に絵をかいたり、  
フォトフレーム本体に絵をかいたりする。

### ◎ポイント◎

- 貝はペンで色を塗ってもよい

### ▲注意▲

机が汚れないよう新聞紙の上で作業をする



### ⑨紙粘土・貝殻をボンドで貼る

ボンドはフォトフレーム本体でも  
紙粘土・貝殻に付けてもよい



#### ▲注意▲

- ・貝殻がフレームの下にはみ出さないように貼る  
(はみ出すと傾いてしまう)
- ・紙粘土を含め、すべての材料をボンド貼る。



### ⑩完成したフォトフレームを乾かす

机の上にフォトフレームを置き、  
ボンドが乾くまでおいておく

#### ▲注意▲

乾く前に持ち帰る場合は  
新聞紙に来るんで持ち帰る





### ⑪片付けをする

- ペンを元の場所に戻す
- 机の上のゴミなどを捨て、机を整頓する
- 汚れた新聞紙はゴミ箱に捨てる

きれいな新聞紙は畳んでかごに戻す

- 余った紙粘土、絵具はゴミ箱に捨てる
- 手は各階のトイレに洗いに行く
- 余った貝はお土産にどうぞ♪



### ⑫作業終了

フォトフレームは約 1 時間で乾きます。

乾かしておく場合は再度とりに来る時間を決めてください。

フォトフレームを立てる棒は、注文数と同数をまとめて指導者にお渡しします。

各団体ごとに研修生に分けてください。